

平成28年度(2016年度)

管理事業名	スポーツグラウンド事業				総合計画の 体系		第4章 第3節		個性がひかる学びと文化創造のまちづくり スポーツに親しめるまちづくり		
主な歳出 予算科目	一般会計	(款)	2	総務費	(項)	1	総務管理費	(目)	34	体育施設管理費	
部局名	都市魅力部	予算執行所属			文化スポーツ推進室						
予算大事業名 スポーツグラウンド管理事業 運動広場等管理事業		上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名									
事業の目的と概要											
指定管理者制度において、5か所(中の島、桃山台、山田、南正雀、高野台)のスポーツグラウンドの管理・運営を行うとともに、安全な施設の整備に努め、健全なスポーツ活動の場を提供します。 また、市の遊休地(青山台、藤白台)2か所と府からの借用の(新御堂、春日)2か所は、土地の用途が決定され返還するまでの間、暫定的に地域の住民にスポーツ・レクリエーションの場として提供します。											

I 事業の成果(実績)

指 標 名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	成 果 指 標 の 定 義
施設利用者数、目標利用者数 265,361人	人	252,396	248,744	234,536	中の島、桃山台、山田、南正雀、高野台グラウンドの利用者数
スポーツグラウンド使用料収入額	千円	29,253	28,335	24,828	中の島、桃山台、山田、南正雀グラウンドの使用料収入決算額(過年度使用料徴収分含む。)
成 果 の 説 明	平成28年度(2016年度)は南正雀テニスコートの全面改修工事で約3月間閉場しました。 平成28年度(2016年度)の利用者数は、平成27年度(2015年度)比14,208人(5.7%)、平成26年度(2015年度)比17,860人(7.1%)減少しました。 また使用料収入は、平成27年度比3,507千円(12.4%)、平成26年度は4,425千円(15.1%)減少しました。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	差額
		A	B	B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	29,251	28,329	24,826	△3,503
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	2,070	2,054	1,649	△406
経常収入 小計(a)	31,321	30,383	26,475	△3,909
給与関係費	2,990	3,062	4,993	1,931
物件費	89,088	93,888	92,796	△1,092
維持補修費	1,829	5,301	6,839	1,538
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	24	11	-	△11
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	8,335	8,335	8,335	-
徴収不能引当金繰入額	△2	1	△1	△2
賞与引当金繰入額	242	213	649	436
退職手当引当金繰入額	△142	92	2,714	2,623
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	102,363	110,902	116,325	5,423
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△71,042	△80,519	△89,850	△9,332
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△71,042	△80,519	△89,850	△9,332
一般財源充当額	63,154	72,434	99,905	27,471
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△7,888	△8,085	10,055	18,140

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決 算 額 の 主 な 内 容
使用料及び手数料	使用料収入額 24,826円
物件費	指定管理委託料 89,047千円 中の島グラウンド高木剪定業務委託料 756千円 など
減価償却費	スポーツグラウンド3か所 建物分

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表

(単位:千円)

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	差額
		A	B	B-A
行政サービス活動収入	31,323	30,390	26,477	△3,913
行政サービス活動支出	94,477	102,824	105,317	2,493
行政サービス活動収支差額	△63,154	△72,434	△78,840	△6,406
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	21,066	21,066
投資活動収支差額	-	-	△21,066	△21,066
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△63,154	△72,434	△99,905	△27,471
一般財源充当額	63,154	72,434	99,905	27,471
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の 主な内容	投資活動支出:南正雀スポーツグラウンド工作物
--------------	------------------------

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指 標 名	年度	実績	単位あたりコスト	分 析 内 容 (前 年 度 と の 増 減 理 由)
利用者1人あたりのコスト	平成26年度	252,396 人	406 円	スポーツグラウンド5か所の利用者1人あたり 496円のコストがかかっています。
	平成27年度	248,744 人	446 円	
	平成28年度	234,536 人	496 円	
開場1日当たりのコスト	平成26年度	延べ1,795 日	57,027 円	スポーツグラウンド1か所1日あたり 64,805円のコストがかかっています。
	平成27年度	延べ1,795 日	61,784 円	
	平成28年度	延べ1,795 日	64,805 円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成27年度末 A	平成28年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成27年度末 A	平成28年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	213	649	436
未収金	8	5	△3	地方債	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	213	649	436
徴収不能引当金	△5	△4	1	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	2,128,685	2,141,416	12,731	その他流動負債	-	-	-
土地	1,941,464	1,941,464	-	固定負債	2,829	5,067	2,238
建物・工作物	187,221	199,952	12,731	地方債	-	-	-
リース資産	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	2,829	5,067	2,238
無形固定資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
土地	-	-	-	負債の部合計	3,041	5,716	2,674
建物・工作物	-	-	-	純資産	2,125,646	2,135,701	10,055
建設仮勘定	-	-	-	地方債	-	-	-
重要物品	0	0	-	長期借入金	-	-	-
図書館資料	-	-	-	退職手当引当金	2,829	5,067	2,238
投資その他の資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
出資金	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	負債及び純資産の部合計	2,128,688	2,141,417	12,729
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	2,128,688	2,141,417	12,729				

Ⅲ 財務構造分析

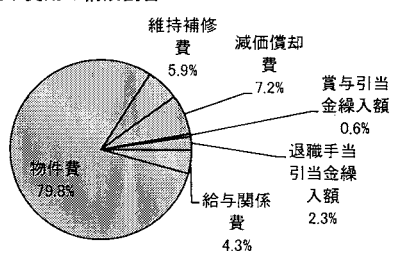
▽人にかかるコストの内訳

事業従事人数	常勤・再任用 月平均	非常勤 月平均	臨時雇用員 年間従事延日数	審議会委員等 実人数	合計(千円)
事業従事人数	0.73 人	人	日	4 人	
給与関係費等	8,306 千円	千円	千円	50 千円	8,356
内、時間外勤務手当	16 千円				

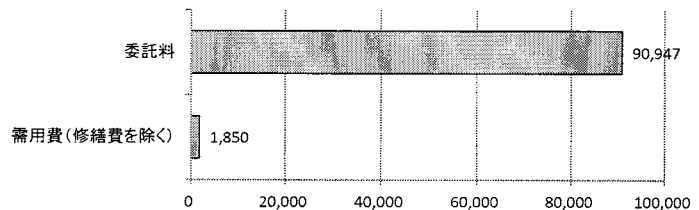
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
徴収不能引当金	スポーツグラウンド使用料未収金にかかる徴収不能見込み額
土地	山田・南正雀スポーツグラウンド
建物・工作物	桃山台・山田・南正雀建物分の減価償却による8,335千円の減 南正雀工作物取得による21,066千円の増

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	吹田市立中の島スポーツグラウンドほか
取得年月日	昭和39年(1964年)4月1日(供用開始)ほか
建物・工作物の取得価額	499,218 千円
建物・工作物の減価償却累計額	299,266 千円
利用料金収入	24,826 千円

▽分析指標

(単位:%)

分析指標	年度	平成26年度	平成27年度 A	平成28年度 B	差 B-A
施設維持補修費比率		0.4	1.1	1.4	0.3
施設老朽化比率		59.1	60.8	59.9	△ 0.9
受益者負担比率		28.6	25.5	21.3	△ 4.2
徴収不能引当率		74.0	68.3	88.0	19.7
一般財源充当比率		66.8	70.4	79.0	8.6
経常費用対公共資産比率		21.4	23.2	23.3	0.1

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は53.9%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

【貸借対照表】

・既存施設の老朽化が59.9%と0.9ポイント後退しました。

【行政コスト計算書】

・コスト全体の79.8%を物件費が占め、そのうち指定管理料等委託料が96.0%占めています。また、減価償却費がコスト全体の7.2%を占めています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

・中の島スポーツグラウンドほか4か所のスポーツグラウンドは平成20年度から指定管理者制度を導入しています。

・平成28年度(2016年度)は南正雀テニスコート人工芝張替工事(26,460千円)を実施し、安心、安全な施設整備を行いました。

・平成29年度(2017年度)は公共施設最適化計画による山田スポーツグラウンド管理棟屋根及び外壁改修工事(38,134千円)と中の島スポーツグラウンド多目的広場整備工事等(36,074千円)を実施します。今後も、維持補修の財源確保も含め、計画的に施設の整備を実施し、施設の長寿命化を図ることが必要です。